

本草圖譜

卷之七七

和書門			
類	號	函	架
三	六	六	
四	五		

內閣文庫			
類	號	冊	函
三	六	六	
四	五		
五	六		

和書門
811

內閣文庫	
番號	和 366
冊數	45 (11)
函號	196 189



本草圖譜卷之二十七目錄

蔓草類



營實

のいむり 二

蕃薇

一種

かいかんむら 十三

一種

かいらんむら

一種

あやむら 十四

一種

あやむら

一種

あいらはら 十五

一種

あいらむら

一種

あやむら 十六

一種

あやむら

一種

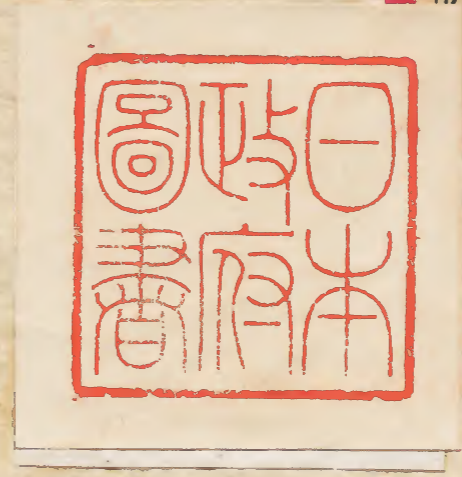
あやむら 十七

一種

あやむら

本草圖譜

卷之二十七



月季花けつぎちやんちん 九

一種 うけいたたらら 十

王瓜わうか わうかからら 十二

一種 あらら 十五

蕃環ばんくわん ばんくくわわんん 十七

言賣 いんん 二十

蔓草類

本草圖譜卷之二十一

一種 月々紅

栝樓くわろう くわわらら 十一

葛くわ くずず 十四

鐵葛てつくわ てつつくく 十六

一類

蕃環

本草圖譜卷之廿七

東都 岩崎常正 著

蔓草類一

營實

むえらの實 和名 ぬいえら

エゲランチールボーム蘭

山野に多し葉は蜀椒に似て枝幹刺あり山生の物ハ葉厚く光沢あり平野に生ずる物ハ葉稍大して薄く糙淡ありとも花單瓣白色して香氣あり此花の露を鍋竈にて採外治に用ゆ若蘭をワットロサートロソワットロ露なり今ろくさいむらと云いロサーとの轉語あり一玫瑰をろくさど云い誤なり時珍の説は南番有蓋薇露云是なり又此花を採生油に漬一日煎てをオーロサーと云オーリハ油あり實は圓くして長一種數十顆族生此實濕毒を逐い水氣を泻下一切魚毒を解かつをの醉あると尤妙なり半熟してを採用ゆべト



本草綱目 卷之二十一

薔薇

のいほら



一種
かやんざら

天保年間か、
ヤマト云異国へ
漂流し、なほと
き管を採来
り其實より生
したる物之形状
野薔薇に似て
蒼子蘇甲刺
あり花白色
大なりて玫瑰
に似たり



一種

かいざら

間々紅 蓮生

葉種大い花草辨形玫瑰
似て初開とき白く微紅
を帯漸紅色後深紅色なり
形海棠花に似て香氣あり



一種

おやむら

七姊妹 秘傳花鏡

花中論の子辨めて
淡紅深紅雜し
草木識御愛花
如十姊妹純紅並色
と云是なり



一種 白大やせり

枝葉野薔薇と曰
して花大子千瓣
白色が草木識子
白剪絨長條多刺
甚大銘可植之
以淡
薔花千瓣如薔
薇亦名白薔薇



一種 ころりから

葉大なり五葉を
有花單瓣淡紅
色あり形桜花色
の如し





一種 かまむら

葉ハ山茶^{さや}子似て一莖三
葉^{さん}蔓^ま甚長^{ちがひ}一丈餘^{いちじゆ}子
及^{およ}扁^{へん}刺^し何^い春^{はる}草^{くさ}辨^{べん}の
白花^{はくわ}を開^{ひらく}形^{かたち}山茶^{さや}子似^にて
實^みハ卵^{りゆう}の形^{かたち}刺^し多^{おほ}し

一種 さとむら

形状^{かたち}かまむら
似^にて花^{はな}紅色^{こうしき}なり



一種 不たんむら



一種 不たんむら 八丈むら

形状もとやむらに似て嫩葉紅紫色花ハ千瓣紅紫色牡丹に似たり又淡紅色し

一種 さむら 日くこんむら 五江

形状もとやむらに似て花重瓣黄色又草瓣十何と子黄蔷薇 道生と

木香花

黃薔薇
八道生



一種

木香花

牡丹といへり

漢名一名錦柵兒鏡

享保年中漢種渡り園圃に栽枝幹細長く緑色にて刺なく葉は竹葉樹に似て
子似て扶く一茎五葉あり春月花あり一朶數十葉形野薔薇に似て
甚烈しこれ時珍の説に小者名木香といふ是なり

木香花
秘傳
花鏡



月季花

てい志中人
かきん
むか



庭際、多く栽木本にて
直立一茎三五葉牡丹
らの葉、似り花深紅色
四季に開く又淡紅より重瓣
又紅と白の筋あり又白て
数種あり重修鎮江府志
白者名牙春又晚白
紅者赤奇云

一種 月々紅綴

南海露春 木識

形、状月季花に全一
但、毎月花あり



一種 うけうから

形状月季花と同一
花淡紅中、深紅の
筋あり、又、けうから
去、何、形、さくら、大、ら、子
似、て、葉、は、月、季、花、に、似
たり



栝樓

きかりすうり

玉瓜の似て黄
黄色を史名す

くそりり

武列子に 高田練馬堀の内大葉谷及び諸国にあり春宿根より蔓を生じ葉
ハ玉瓜の似て 岐浅く淡綠色ハ光沢アリ葉間細鬚を生じ物子細く夏
月花を開く形玉瓜に似て黄白色鬚短し後實を結ぶ時ハ両頭尖りたり大
一寸許塩蔵して食ふべし生ハ綠色熟れば皮肉黄色味ハ甘し中子あり
形絲瓜の子の如くして褐色ハれを割ハ仁あり淡綠色扁くして長く脂多し
是栝樓仁之豆州三宅嶋の産ハ穀正用之根ハ土中深く入ると三四尺皮黄白
色なり 穀文あり味甘し大なるハ 辟の如く天花粉を製するハ冬月堀採て
水飛し粉とちり出と葛粉と同一袋に入て推ハさちくと音あるハ真とれ

玉瓜

漢名一名

新羅葛

邵武府志

からすうり

たまご

人家牆籬に多く有り宿根より生じ葉ハ絲瓜又蛇葡萄の如く似て深綠色
毛首あり別子細鬚あり物子纏ふ夏月葉の間ハ花あり日暮ハ開く瓣ハ白緑
の如く秋月瓜を結ぶ熟すれば紅色中子仁蟻螂の頭に似たり根ハ栝樓に似て
岐り製して天花粉と偽る



栝楼



王瓜



葛

くず

まぐず

ライカラ

山野子有り春葛藤より葉を生じ一莖三葉形眉豆形似て大なりて褐色
毛多し葉互生し蔓長さ二三尺木上を纏ふ秋月葉間子穂を生じ上に向ふ長
一尺許形紫藤の花に似て紅色後扁莢を結ぶ又白色の物有りとし小根不
る指の如く大なる合抱する上方瘠なり知を葛根藤と云即芦頭これ
用れ吐吐と云根株より別し蔓を引て土上を延て節の間より根を生じ肥大
根を水飛して葛粉と云他物を雜へざるを上品と云

一種

ひめくま

山野子有り蔓細くして鹿藿の如く葉は葛に似て小く黄褐色
花を開く形又のよめ子似たり節は短く四五分熟すれば紅色中子赤小豆
似て小く黒色なり根味淡し武州秩父よりかてくまと稱して土民根を堀採り
摺て葛粉の如く水飛して食せと云



葛
くず



ひめくす



鐵葛

附錄

てつべんかつら江

くまのえら民判

くまやあふ日光

こころ佐

こころ後

くまふ別

あきららり

漢名 青舎子條救荒本草 一名 山藤盛京通志

山野子有り藤蔓長一丈餘大如母指の如く嫩條は綠色老くなれば黒色鉄の如く堅硬刀斧にて切ると幹直如く如く株を採て馬鞭を造り故子てつべんかつらと云春月葉を生け胡枝子花の如く一葉の如くみでなく紋理細密又柳榆あけに似て鋸齒あり同茎互生夏月枝の梢へ穂をたけ花を開き小葉を結ぶ杓あけ形なり初緑色後紅色熟すれば黒色越後の小兒採り食ふ佐州あけに春那葉を採菜とて食ふ豆州志あけ云聖武天皇の御宇尾張女左子あけ三野狐を捕へ右の手にて熊葛の鞭あけ以打し具鞭あけ肉つととと云こころあけらあけこころあけありとち一様特生あけ糸條蔓長からざる物なり是あけ實大あけ

鐵葛 録



黄環 狼跋子



エリトリナインチガ羅

コラールボロ蘭

梯姑中山傳

古抱樹五章



和産詳あり物印忙一匝米利加の蔓あり 周あり葉ハ一莖三葉蔓似
て甚く大子蔓ハ樹の如く多刺あり花穂を引て亦蔓に似て花尖りて紅色
此物蕪恭の説其花紫色其子名狼跋子角生似皂莢文廣送入
太常者正是黄環子也花實与葛同時と云是なり字田川校按云
コラールホーハ中山傳信録云椽姑樹高七八尺大者合數圍葉大如棗
作品字對節生四月初花朱紅色長尺二三寸每乾直抽擷花數十朵花
莖如紫木葉似紙高麗種出大平山と云又擗黎崱車韻譜所
謂古抱樹と月物し

本草圖譜卷之廿八目錄

蔓草類

天門冬	一種	特生の物
百部	一種	苗葉の物
一種	一種	アスベルチイ
一種	一種	雌たる物
一種	何首烏	うつあつと
葶藶	一種	さいたうくき

一種	菊葉 <small>きくやう</small> ころ	一種	ひめさとり
一種	蔓生 <small>つるせい</small> の物	一種	同葉 <small>どうや</small> の物
一種	ハいけず	一種	ひめさとり
土茯苓 <small>どくろく</small>	漢種 <small>わんしゆ</small> の物	一種	葉中斑 <small>あしな</small> の物
一種	蔓種 <small>つるせい</small> の物	一種	からすきむ

本草綱目卷之二十一

本草綱目譜卷之廿八

東都 岩崎常正 著

蔓草類

天門冬 すへうくさ 延喜式 すまろくさ 和名 そりかつら

すまろくさ アスバラキスヒノシユス 荷

春月宿根より生ず葉ハ杜松としょう或ハ杉しのぎの葉ニ似て細ク一節二三葉對生一莖蔓
 女引根子延子如子逆刺あり蔓一丈余木上を纏ふ葉間ハ小白花を開キ小
 田子を踏ふみハ南燭なんしゆく 菟子うしの大子おほこと白色を根の形 萱草うんそうニ似て白色楮かの下
 長ハ二三寸味ハ苦一握採テ蒸テ皮ト心を去リ茶用トス

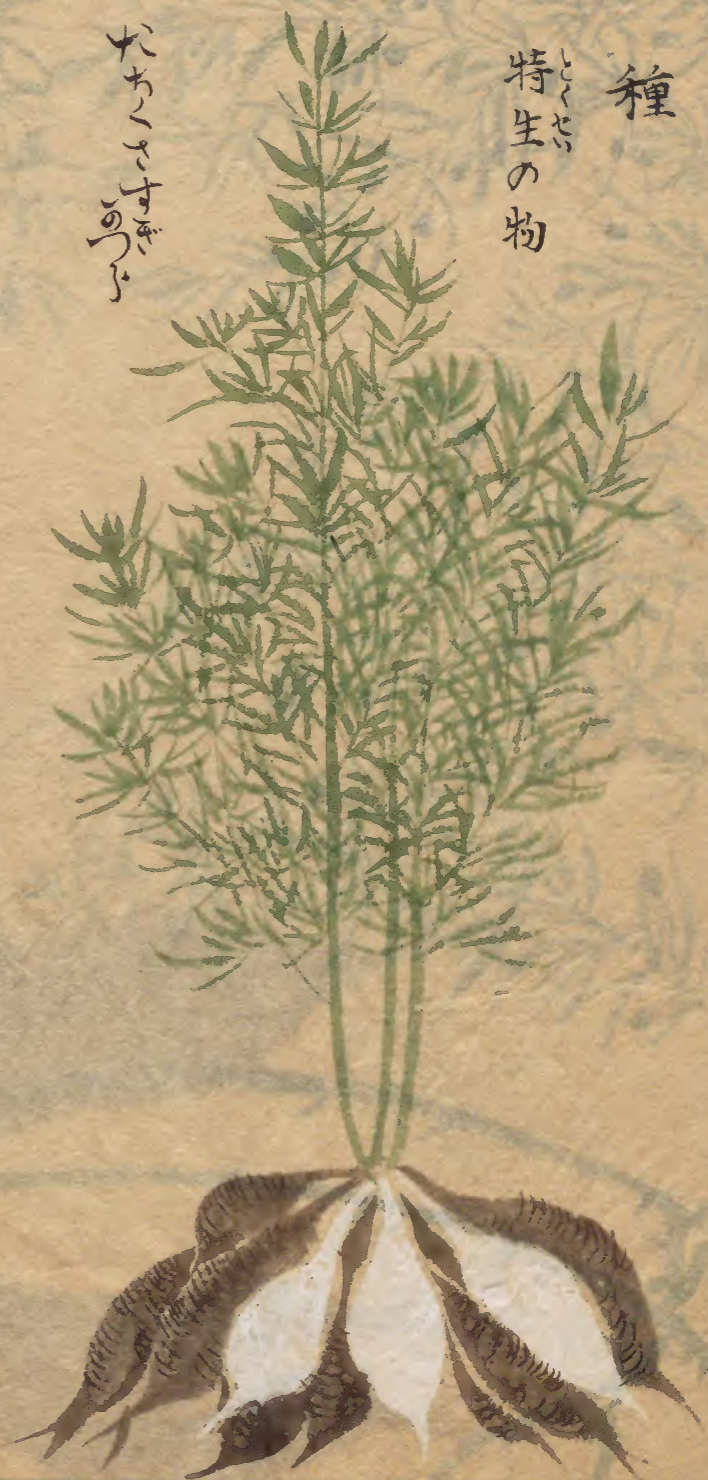
天門冬てんもんとう



一種

特生の物

大根の草



特生の物あり葉をあらはし
一根本生れし水備急本草
の漢名天門冬

百部

布とつら

本草和名

古へ和産あり享保年中漢種渡り今せり多し二種あり春宿根あり生れ
葉ハ山藥に似て小く一節より四葉對生し葉の中子花を閉く四瓣緑色なり紫
色五葉ふ実ハ肉くして扁人參子に似て天れり一種莖狭く少なる物有り二三
葉對生を鄭樵爾雅に葉似薯蕷と云又蘇頌の説に似竹葉と云是たのり明和
中始末をる物も根長し長崎にて細葉と云これ蔓生なりと云ふ

ひやうぶ
百部



一種

苗葉小なる物



一種

特生の物

特生の物より蔓をなすは高さ一尺を過ぐ立に葉を苗根の如く似て
四葉對生根上り花の四瓣綠色にして葉の斑の如く蠟梅の花に似たり一種

苗葉ハ一二寸あるものあり以上の品皆根ハ天門冬に似て稍短く味ハ
苦し延喜年中舶來せる部子葉を帶ふ物あり即ち特生の物ありと云



一説 アスベルケイ



一種

たまげ草



一種

筑前の産ハ葉ハヨドバクシ
ニ似テ根ハ塊ありて天門冬
の如シ

一種

たけがし

かき志
腫ナリ物



一種

雄ちる物



一種

さうちく 志、かくし アスヘルチイ の誤植あり

特珍の説子鄭樵通志葉似著菴者謬ありと云却て非あり此百部を和
さうちく特珍の説子有細葉苗香と云是より春月宿根より生花初生小指の大き
形竹筍の如く荷蘭人これを食ふと云長をれ枝を公ち葉を生じ小苗香子似
イ粉鮮色又さくかくしも似て枝よく所一高四五尺葉の間小く淡黄花を開
天門冬の花に似たり根百部子似て塊なり

一種

たす布さす

形状志、かくし似て苗低く一尺許を斜に向ふ花の形は志、かくの如く漢紫
色下垂に長き根数条有り

一種

ましくし

一様は叢生し高さ一尺許形志、かくの如く葉は後有りて縁軟く小白花
を開き月夜を結し紅色南燭の如く一種小く四寸許に葉細密なりとの言あり
かく以下の品は皆天門冬之類に属し百部の為は非なり

何首烏

ういかつら 和名

漢名一名苦蕒 府志

桃柳藤 何有録

交莖 野苗上同

武州江戸近郊人家播種多し春月宿根より生れ苗蔓延び初生紅色葉ハ
山藁に似て厚く背紅紫色蔓三丈本上の引秋月葉の間は穂をふして形白
花の房状に似たり実ハ三稜あつて蕎麥の如し根ハ軟弱なり似て硬く
赤褐色にれ雄蕊ハ赤何首烏あり其根白色なるハ雌有白何首烏又和
名はめちうと云食料をる物ハ漢名黃獨 鎮江府志あり



何首烏

蕈 蘚

漢名一名山硬温州府志

硬饅頭江州府志

とある

あまとおろ州

もちとある

ひめとありといふ山城名産あり信州戸隠山奥院あり春月霜根より生じ葉ハ
 薯蕷の如く似て初生四五葉集り附く後蔓をたれ長寸数尺葉の間穗を生
 じ黄白花を開く根横生して蒼木の如く細し蒸煮て食ハ味甘し少く茶味
 あり初生ハ蔓をふささるる中一特生蕈蘚と味ふ

一種

さいとうん

京のさいとうん多く生じ初生ハ特生後蔓をたれ甘蔓一丈餘ハ反ハ花穂何
 ちとありと同一葉ハ花又りて蟻の如く根ハ小指の大きき白色ふくし
 軟なり味淡し以上二種上品小川草蘚あり



草
薺
ひ
く
い





一種
さいねんくさ

一種

菊葉とこち

葉五七丈ありて形菊葉に似たるものあり深山に生じ根味苦し蘇頌の説に葉作三叉と云是あり

一種

むらぶとといふ

葉ハ五七丈ありて苗短く葉の間は零餘子れいよしの如く実を生じたるものなり

一種

をよとある

やあところ

まりところ

諸國山野に多し葉蔓も山藤と一般に葉濃し又葉は白き斑あるものあり根上の蔓は逆刺り蘇恭は茎有刺と云り葉間を穂をたし六瓣にて淡黄色の小花を開く後三稜あり莢を結ぶ山藤の莢と同じ此本草原始は山藤葉赤而堅硬とハ是あり根指の大ききて鬚多し硬くして味苦く下品なり

菊葉とこち



本草綱目 卷之二十八

ひるぎ
とちり



を
とちり



本草綱目 卷之二十八 十三

サ萩 萩

さるとり 和名 さいとり いせら 京

みづく いせら 和名 けんきらい

わらぐい 前 老佛頭 福寧 府志

山野に多く係蔓 薔薇に似て堅く刺あり葉円くして三裂道り葉毎日の雨の鬚あり夏月枝の梢に六瓣の小さき黄葩を開き秋月実り紅色を根の節に塊りありて硬く形状土茯苓に似て紅色硬く又嫩葉は紫色の斑あり

一種

蔓生植物

蔓生を係軟く葉は萩葉に似て正四なり花球を帯び六瓣の黄葩を開く根は土茯苓に似て大なる塊をもちす

一種

圓葉の物

一種

へあけす

特生の萩葉より條直立し高さ一二尺鬚なく葉は萩葉より狭く花同一此萩 荒本草の山梨見たり

一種

ひめ萩 萩

苗至て後三五寸葉甚小にして小豆の大き形虎刺に似たり花は六瓣黄色にして小なり根は蔓の如く上中を引處々苗を生じ



蔓生の物



菝葜

圓葉の物



へびげす



ひめぎらとり



土茯苓

さんきらひ ラーテキスレー子
シ子ーヌラトルル南 岐良 本草新編

和唐下ノ享保年中漢種渡リ今多シ蔓細ク一ノ枝を生シ綠色葉の間ニ細
才鬚を出シ纏心葉ハ竹ノ似テ厚ク深綠色光沢有板間ニ小紫花葉生シ
纏ノ如ク葉の中ニ斑アリ又斑有ヨリ根ハ菝葜ノ似テ肉皮褐色肉赤紅
赤時珍ノ説ニ東山經を引テ其葉如柝ト云是ナリ又軟菝本草野譜ニ載
リ因是アリ

一種

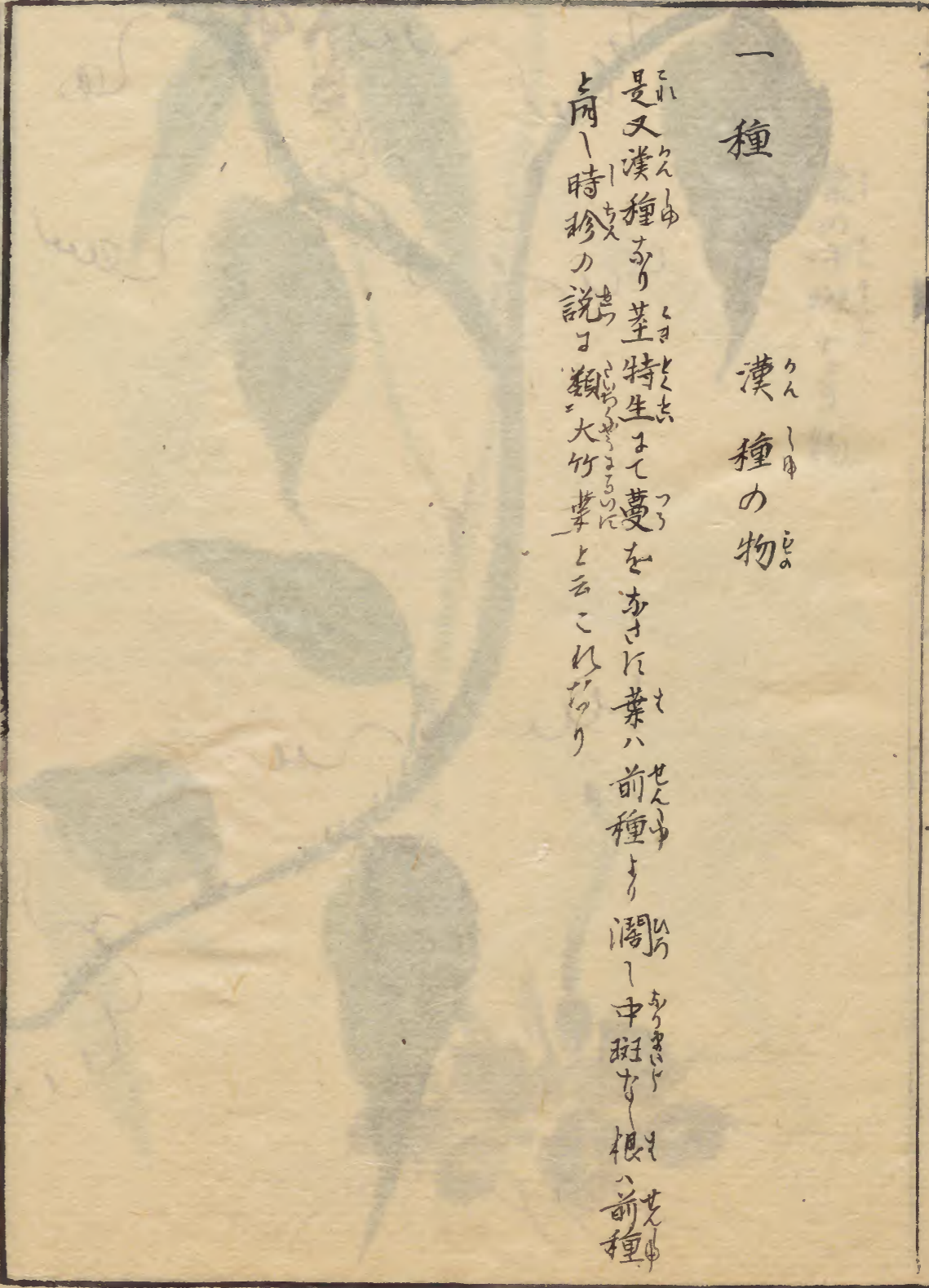
葉中斑赤物

葉の中斑 ちゅうはん ナノヨ物



一種 漢種の物

是又漢種あり 莖特生して蔓をあたは葉ハ前種より濁し中斑な根ハ前種より時珍の説は類大竹葉と云これなり



漢種の物

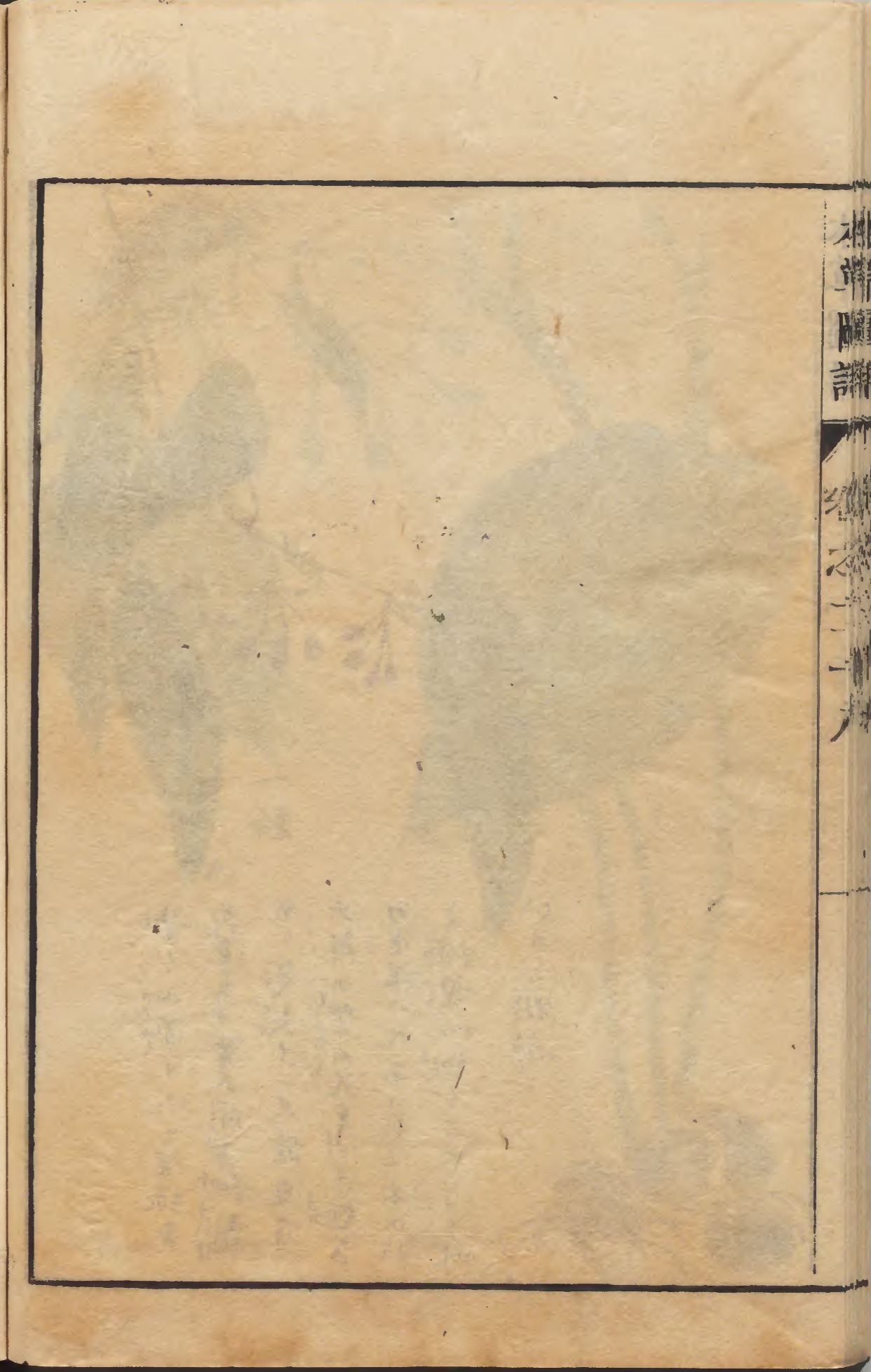
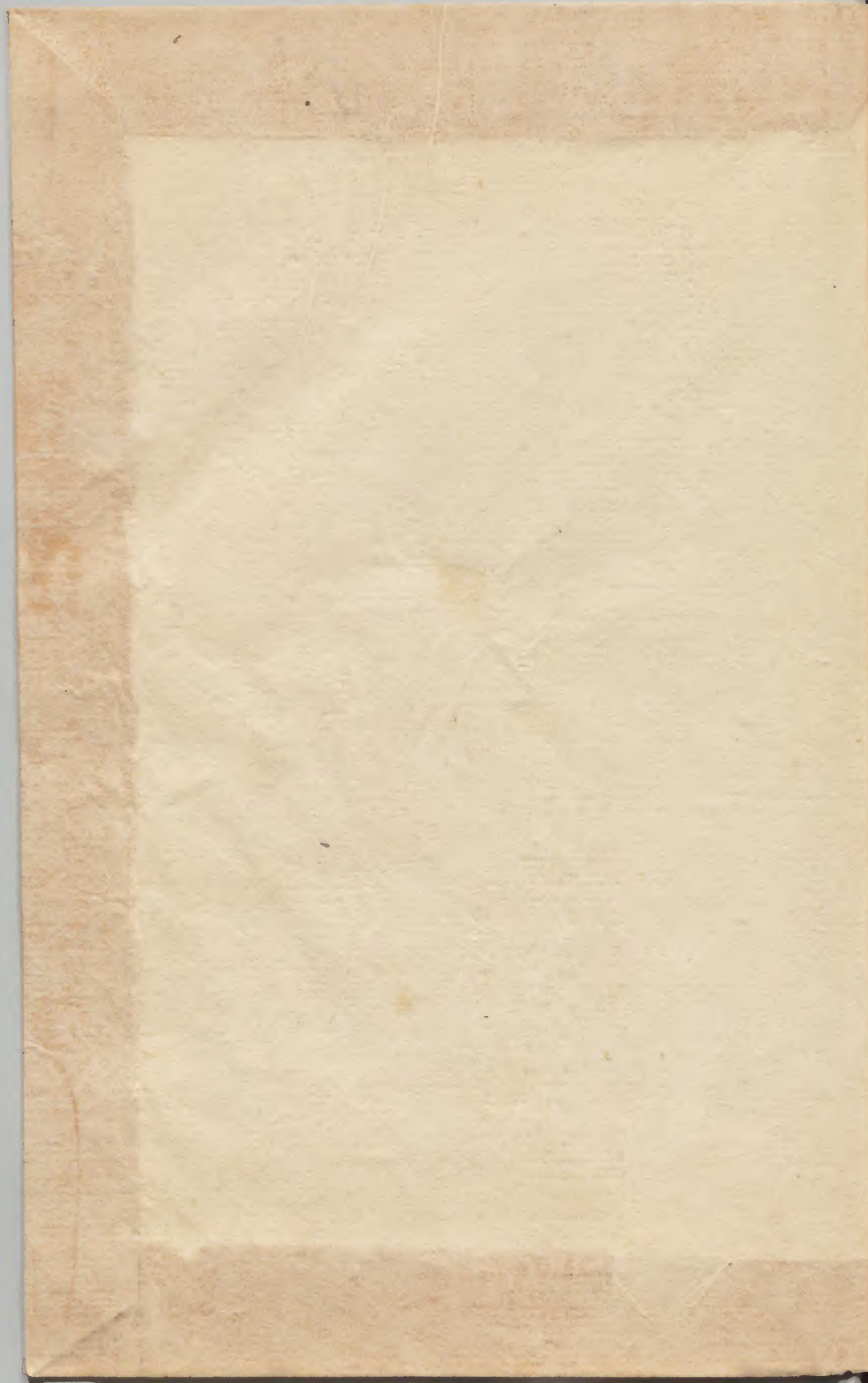




一種
あらしすまぎ



葉も山藁に似て深緑色
光澤あり葉の間は細長
あり蔓長一尺餘夏月
六瓣の紫の花を開き根を
かき根ハ大にして木の如
く柄葉の物より大なり味
ハ甘く微流ド



本館
藏書
目錄
卷之二十一

